

Q 小学1年の息子に、同級生や上級生のグループから初めて遊びの誘いがあり、家のすぐそばで遊んでいた様子を何げなく見ていきました。すると、上級生の男の子から腕を引っ張られ、同級生からは「おい、泥棒、こっちへ来て」などといわれたり、女の子の名前で呼ばれたりしていました。後で息子に聞いてみると「遊んでいても楽しくなかった」と言います。單なる子供同士のからかいと静観していてもいいのでしょうか?

A 息子さんは、嫌なことをしていたのはおそらく数分間だと思いますが、こんなことが目の前で次々と起こったのでは、親としては不安になりますよね。子供同士の小さなトラブルは、人に相談しても「よくあること」と一蹴されてしまうことが多いものですね。私もたいていの場合、そう答えます。

でも今回の場合は、あなたが何かひつかかるものを感じたように、私にも何かいじめの前兆のようなものを感じられます。子供同士のからかいをす

ぐにいじめと決めつけるのは、私も好きではありません。しかし、からかいというのは、良好な人間関係ができるいる者同士でのみ許されるものです。

お子さんの場合、そうではないようです。故意に本人が嫌がる呼び方をし、腕を引っ張ったときは連行するような感じではありますでしたか。



息子へのからかい、静観すべきか？

息子さんは、嫌なことはつきり嫌とはいえないタイプで、もしかしたら女子のように優しくおとなしいタイプではないでしょうか？ そういう子供は、いじめやからかいのターゲットになりやすいものです。ただ、今回はたまたま、ということもあるので、しばらく様子を見て、再びそうしたことが起こったら、そのお子さん以外から新しい友達を探すことを考えましょう。一緒に遊んで楽しいのが友達ですから。

遊ぶ様子を見たり、子供にその感想を聞いたりすることを過保護と呼ぶ人もいるかもしれません。が、私は愛情に見えます。あなたがしたことは大正解です。（こどもコンサルタント）